

自分の思いがいた町の未来を プレゼンテーションで伝えよう ～プレゼンテーションをしよう～

6年 国語
「町の幸福論—コミュニティ
デザインを考える」
資料の活用

ねらい

- 目的に応じて必要な情報を的確に集めることができる。
- 集めた情報を発表の意図に合わせて、取捨選択したり加工したりすることができる。

学 習 展 開

- ① プレゼンテーションの見本を聞き、学習の見直しをもつ。
- ② プレゼンテーションの仕方について説明を聞き、意図を伝えるには、効果的に資料を活用するとよいことを理解する。
- ③ 教材文から読み取ったことをプレゼンテーションのシートの形式にまとめる。
- ④ 自分の町の未来について考えたことを伝えるために、資料を効果的に活用して、プレゼンテーションを行う。
- ⑤ グループごとに発表し合い、感想や意見を交流し合う。



絵とキーワードを書いた画用紙



グループごとにプレゼンテーションを行う児童

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、プレゼンテーションの説明についての資料とワークシートの内容について担任と話し合って作成する。
- 司書教諭は、プレゼンテーションの仕方について説明する。
- 学校司書は司書教諭と協力して、調べ学習に必要な資料を準備する。

★指導のポイント

- ◆ 自分の意見を伝えるためには、適切な資料を提示することの大切さを理解させ、選ぶことができるよう支援する。
- ◆ 発表する時は、原稿を読むのではなく、相手に同意を求めたり、質問したりするなどの工夫をするよう指導する。

資料

「ボランティアわたしたちにできること」全8巻／池田明彦（ポプラ社）、「ユニバーサルデザイン〈第2期〉つながる・ささえあう社会へ」全3巻／神保哲生（あかね書房）、「あなたが世界を変える日／セヴァン・カリス＝スズキ（学陽書房）他